

共生共創事業

チャレンジ・オブ・ザ・シルバー

in
湯河原

シニアダンスワークショップ参加者募集

神奈川県では、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与するため、文化芸術の分野においても、「ともに生きる とともに創る」を目標に、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を実施しています。

「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」では、神奈川県出身の世界的ダンサー安藤洋子を中心に、神奈川県内でシニアダンスワークショップを展開しています。

日時： 令和7年 12月25日(木)
14:00～16:00 (受付開始13:30)

定員： 45名
*申込締切：令和7年12月18日(木)
*応募多数の場合、抽選

対象： 神奈川県在住・在勤の 60 歳以上の方 ※経験不問

参加費： 1,500円 (税込)

会場： 湯河原町 防災コミュニティセンター 2F

個性、
とことん
舞台、
ぞくぞく。

ともに生きる とともに創る
共生共創事業

主催：神奈川県
共催：湯河原町
制作：株式会社 風と音
企画製作：公益財団法人神奈川芸術文化財団

シニアのためのダンスワークショップ参加者募集

Q.「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」とは？

A.世界の第一線で活躍してきたダンサー・安藤洋子が神奈川県内在住・在勤の60歳以上のシニアを対象に、新たなダンス表現を創り出すためのプロジェクトです。横浜市での継続的なワークショップと、県内各地でワークショップを開催し、年に1度、安藤洋子企画・演出のダンス作品を創作・発表します。

Q 安藤洋子がシニアと目指す「ダンス」とは？

A.身体を動かすことだけを優先した健康体操ではなく、音楽に合わせるだけのダンスでもない。他者、自分、そして世界と向き合うような、心の充実も考えたダンスです。自分の身体の状態や仕組みを意識しながら楽しく身体を動かし、心の奥深くから湧き出る身体の言葉を紡ぎ出すことで、芸術や表現の力を借りて「未病改善」や「健康増進」を探ります。さらに、自己と他者、空間への意識を少しだけ変えることで、「日常の身体」から「表現する身体」へとアプローチし、ダンス表現に取り組みます。

レッスンの流れ

①コミュニケーションタイム

講師が一人ひとりの方にお声がけし、健康状態などを確認します。最近の健康状態や身体の悩みなど、自由にお話し下さい。

②ウォーミングアップ&基礎練習

ストレッチやアイソレーション（身体の各部位を1つずつ動かす練習方法）を通して身体の基礎能力を鍛えるとともに、解剖学的な身体の知識を学びながら、自分の身体について、いろいろな発見ができるよう導きます。

③フロアレッスン

リズムを体感しながら心と身体をゆっくり解放します。身体表現していく上で大切な空間把握のテクニックなど、舞台上に立つための基礎を学びます。

お申込み・お問合せ

申込みフォーム、メール、お電話のいずれかで、下記の項目を添えてお申し込みください。

1. 氏名（ふりがな）
2. 年齢
3. 電話番号
4. 住所
5. メールアドレス



申込みフォーム
二次元コード

■WEB https://krs.bz/kanagawaaf/m/cotsws_yugawara2

■メール challenge.office.ando@gmail.com

■電話 080-5885-3373（平日10:00～18:00）
（公財）神奈川県芸術文化財団 社会連携ポータル課

※申込締切 令和7年12月18日（木）

※応募者多数の場合は抽選となります。予めご了承ください。

安藤洋子 プロフィール



ダンサー、振付家。神奈川県生まれ。コンテンポラリーダンスを木佐貫邦子に師事。野田秀樹や小澤征爾、坂本龍一の舞台でも活躍。2001年アジア人として初めて、鬼才の演出家ウィリアム・フォーサイスの目にとまりドイツ・フランクフルトバレエ団に入団。メインソロダンサーとしてドイツを拠点に世界各国で踊る。

現在は横浜を拠点にアーティストとして自己の身体表現を模索するとともに、経験を生かした芸術教育に力を注ぐなど精力的に活動をしている。

アクセス



湯河原町防災コミュニティセンター 2F会議室

〒259-0301 神奈川県足柄下郡湯河原町中央2丁目21-1

【電車でお越しの方】

JR東海道線「湯河原駅」下車、徒歩約15分。

【バスでお越しの方】

湯河原駅から箱根登山バス「鍛冶屋行」もしくは「幕山公園行」乗車（乗車時間 約3分）、
「中央二丁目」で下車、徒歩1分。

【車でお越しの方】

国道135号「幕山公園（梅林）入口」交差点を、小田原方面からの場合は右折、熱海方面からの場合は左折し、直進。
その後、左手にコンビニエンスストアがある交差点を左折して程なく左側。

持ち物

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 運動できる服装 | ☐ 運動靴（スニーカー推奨） |
| ☐ 水分補給用の飲み物 | ☐ 汗を拭くタオル |